
【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【広東省の企業が全国上位を維持する理由をデータで読み解く】](#)

[【「クロスボーダー・ペイメント・ゲートウェイ」の始動で加速する大湾区一体化】](#)

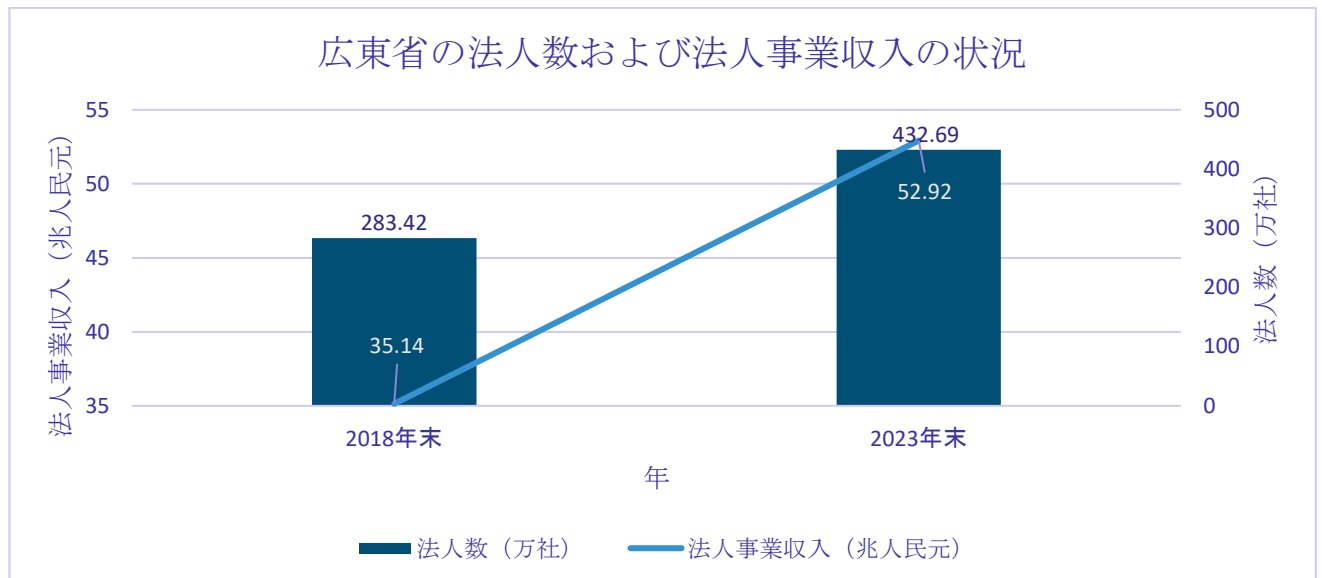
[【広東省で近代型海洋牧場プロジェクトが 100 件以上始動―「海上の新たな広東」構築に向けて、海洋強省の実現を力強く後押し】](#)

【広東省の企業が全国上位を維持する理由をデータで読み解く】

2025 年 4 月 15 日、第 137 回広州交易会が広州で開催しました。複雑で不安定な世界経済情勢や、米国の関税引き上げ政策による不確実性を背景にもかかわらず、展示場前にはビジネスマンの長い行列ができました。これは、国際ビジネス界が中国市場および広東省経済に対して引き続き楽観的な見方を持っていることを鮮明に示しています。

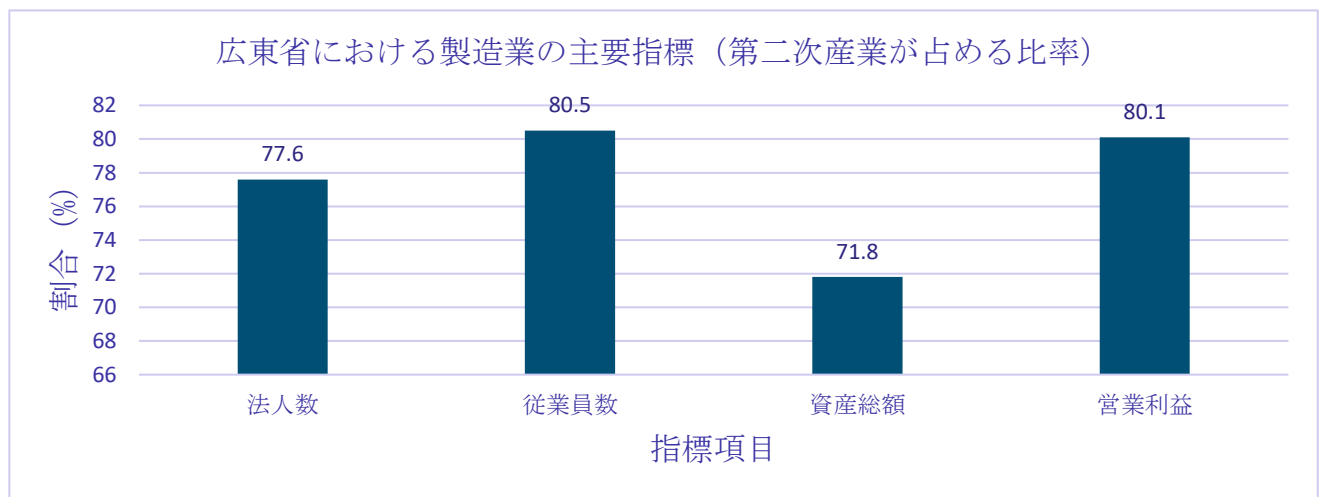
新たに発表された広東省第 5 回全国経済統計のデータによると、広東省におけるアクティブな企業体数は全国第 1 位であり、法人総数は全国の約 7 分の 1 を占めています。大規模で安定した市場プレーヤーは、広東省の GDP が 36 年連続で全国ランキング 1 位を維持する重要な基盤となっています。

過去 5 年間で法人数は 50%以上増加し、収入規模も着実に拡大しています。2023 年末時点での企業法人数は 432 万 6,900 社で、2018 年末から 149 万 2,700 社（52.7%）増加しました。法人年間事業収入は 52 兆 9,200 億元に達し、同期間で 17 兆 7,800 億元（50.6%）増加しました。



【図 1】 広東省の法人数および法人事業収入の状況（2018 年末～2023 年末）

広東省は実体経済を基礎とし、製造業を中核に据える方針を堅持しています。2023 年末時点で、広東省の製造業は法人数、従業員数、資産総額、営業利益のいずれもが第二次産業の 7 割以上を占めています。全国比でも、製造業の法人比率は 1.1 ポイント、総資産額は 1.6 ポイント上昇しました。



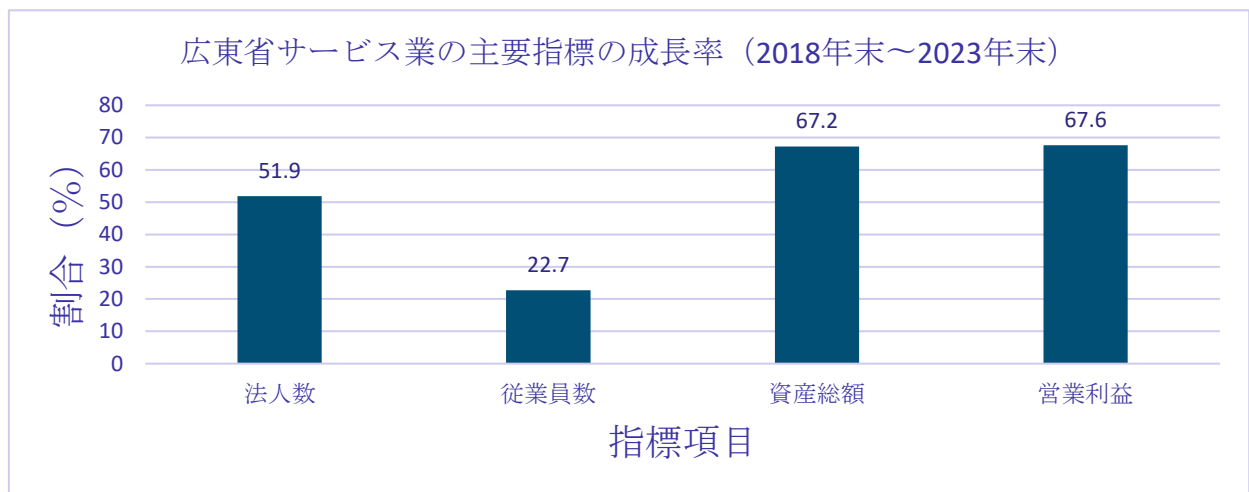
【図 2】 広東省における製造業の主要指標（第二次産業が占める比率）

広東省製造業クラスタは成長を続け、国家レベルの製造業チャンピオン企業や「小さな巨人」企業の育成にも成功しています。2024 年 6 月には、工業情報化部が発表した第 8 回製造業チャンピオン企業に広東省から 60 社が選ばれまし

た。そのうち 32.7%がハイエンド設備製造、26.5%が新素材関連企業で、新エネルギー貯蔵や低高度経済といった未来産業も少数ながら含まれています。

2024 年 9 月には、同部が発表した第 6 陣の「小さな巨人」企業に広東省から 561 社が選出されました。これまでに累計 1,528 社の「小さな巨人」企業と 2 万 7,339 社の専門的中小企業が育成されており、いずれも全国トップクラスです。

サービス業も同様に、情報通信、科学技術、ビジネス支援などの分野で法人の数と収益が大幅に増加しています。2023 年末時点において、2018 年末比でサービス業の法人数 51.9%、従業員数 22.7%、資産総額 67.2%、営業利益 67.6%とそれぞれ増加しました。



【図 3】 広東省サービス業の主要指標の成長率（2018 年末～2023 年末）

特に、情報伝達ソフトウェアと情報技術サービス、科学研究と技術サービス業はリースとビジネスサービス業の 3 大産業分類の法人数は、それぞれ 68.4%、49.5%、47.9%増加し、営業収入もそれぞれ 109.5%、62.8%、72.0%増加しました。2023 年末時点で、広東省のデジタル経済基幹産業の法人は全国の 15.3%を占め、そのうち 2 割がデジタル製品製造業であり、デジタル経済と実体経済の融合が着実に進んでいます。

さらに、広東省の一定規模以上のハイテク製造業の法人数は 2018 年との比較で 60.8%増の 13,710 社に達し、一定規模以上製造業全体の 19.5%を占めるまで

に成長しました。2023 年の営業収入は 5 兆 6,644 億元で、2018 年との比較で 21.2%増加しています。

研究開発（R&D）活動も活発で、R&D を行う一定規模以上工業企業は 18,788 社、研究開発人員は 92,000 人/年に達し、発明特許出願数は 16 万 4,900 件と、それぞれ 2018 年との比較で 13.4%、48.0%、59.3%増加しています。

こうした成果は、広東省が改革開放の先駆者として、あらゆるタイプの企業の発展を新たなレベルへと押し上げ、現代化建設の基盤を強化していることを示しています。百万単位の市場プレーヤーが広東省経済の安定を支えるだけでなく、産業チェーン全体の活性化にも寄与しています。

【「クロスボーダー・ペイメント・ゲートウェイ」の始動で加速する大湾区一体化】



2025 年 6 月 22 日、中国本土と香港両地の居住者が、スマートフォンで相手の電話番号や銀行口座番号を入力するだけで、いつでもどこでもリアルタイムで送金できる「クロスボーダー・ペイメント・ゲートウェイ（中国語で「跨境支付通」、以下「ゲートウェイ」）」が正式にスタートしました。初期段階では、両地域それぞれ 6 つの銀行がサービスを提供し、当面は手数料無料となっ

ています。同日には、全国初となる中国本土から香港への送金（南向き）および香港から本土への送金（北向き）が深圳において実施されました。

従来のクロスボーダー決済は、国際的仲介機関を経由するため、時間とコストがかかるのが一般的でした。今回導入されたゲートウェイは、中国本土の銀行間決済システム（IBPS）と香港の高速決済システム「FPS（轉数快）」を相互接続することで、送金ルートを大幅に短縮しています。これにより、オンラインバンキングやモバイルバンキングを通じて、いつでもどこでもクロスボーダー送金が可能となり、資金は即時に着金します。送金コストが大幅に削減されるだけでなく、金融主権の強化やリスク耐性の向上にもつながっています。

深圳在住の方さんは、香港の学校に通う娘に送金する際、これまでは人民元を香港ドルに両替し、送金してから着金まで半日以上かかっていました。現在では、スマートフォンで必要な情報を入力するだけで、簡単に送金を完了することができます。香港の市民からも「以前は市内の両替店の資金ルートに問題があると、マネーロンダリングの疑いをかけられ、口座が凍結されることもありました。最も原始的な方法は、香港で人民元に両替し、現金を持って自ら国境を越えることでした」との声が寄せられています。ゲートウェイの導入により、「大湾区での不動産購入」や「休日のたびに中国本土へ旅行」といった生活が、より便利になります。

このように、広東・香港・マカオの金融インフラが相互接続されることで、住民の資金移動のニーズに応えるとともに、生活やビジネスの交流を促進し、大湾区の一体化が加速することが期待されています。

クロスボーダー・ペイメント・ゲートウェイの導入背景には、中国本土と香港の交流の緊密化、経済・貿易協力の活発化、そして南下、北上の消費需要の高まりがあり、効率性及び安全性の高さ、及び迅速な資金循環がより強く求められるようになったことがあります。決済の利便性の向上は「北上する香港人」の消費力を拡大させています。現在では、クロスボーダー決済がよりスムーズになり、都市間の消費もより便利になりました。人の流れ、資金の流れ、

ライフスタイルの融合が進み、「私たちは皆大湾区の住民である」というアイデンティティも、より深く根付いていくことが考えられます。

さらに、ゲートウェイは、相互接続が秘めている持続的な革新のポテンシャルを持っている面でも高く評価されています。香港メディアは「香港は人民元によるクロスボーダー決済推進のための実験の場となり、世界のデジタル通貨発展に貴重な経験を提供している」と報じています。現在は人民元と香港ドルの送金のみに対応していますが、将来的にはより多くの通貨や国・地域に対応する真のグローバルな決済プラットフォームへと進化する可能性があります。香港金融管理局（HKMA）の関係責任者も、導入状況を踏まえ、同システムの順次拡大、改善を進める方針を示しています。

つまり、クロスボーダー・ペイメント・ゲートウェイは、従来の国際送金が抱えてきた効率性やコストの課題を解決するだけでなく、人民元の国際化を促進する重要な手段とあり、両地の発展にさらなる可能性をもたらす重要な突破口となることが期待されています。

【広東省で近代型海洋牧場プロジェクトが **100** 件以上始動—「海上の新たな広東」構築に向けて、海洋強省の実現を力強く後押し】



2025 年、広東省では海洋牧場の近代化が急速に進んでいます。珠海市桂山・蜘蛛島の海域では、スマート型トラス式深海養殖プラットフォーム「格盛 1 号」が試験養殖を成功させ、刺身グレードのカンパチを 10 万尾収穫しました。さらに、稚魚約 40,000 尾を新たに放流し、今後は生産能力の拡大とブランド強化を目指しています。

2023 年以降、省は「百県千鎮万村高品質発展プロジェクト」を推進し、近代的海洋牧場の全産業チェーンの構築を加速しています。特に海水種苗産業では、恵州市の広東省農業技術普及センターにおいてハイブリッドハタをはじめ、コガネシマアジやマルアジなどの人工繁殖技術が次々と確立され、また、湛江市では水産原種場が省級認定を受けるなど、遺伝資源の保護と育成において大きな成果を挙げています。

養殖設備の革新も進んでいます。江門市新会では世界初の自航式水体自然交換型養殖工船「湾区伶仃号」が進水し、スマート養殖や漁業・観光の融合を実現する新たなモデルとして注目されています。重力式深水網箱やトラス式網箱の設置数も広東省は全国トップクラスで、風力発電と養殖を組み合わせた「風

漁融合」技術も世界初の試みとして導入されています。これらの設備は山東省や福建省、海南省、香港など全国の沿海地域にも広く展開されています。

地域連携の面では、潮州市饒平県が先進的な取り組みを進めています。海岸線と海洋資源を活かして、科学技術の革新をリードし、産業のアップグレードを足掛かりとし、三産融合（第一次/第二次/第三次産業の融合）を突破口とし、近代的海洋牧場の高品質発展の道を探っています。2024 年饒平県の水産業総生産額は約 59 億人民元に達しました。

江門市や潮州市では、従来の木製イカダや発泡浮球を環境配慮型の高密度プラスチック製への転換、及びリサイクルの取り組みも進められており、経済性と環境保護の両立が図られています。

広東省の海水養殖生産量は 2024 年に 376.83 万トンに達し、前年比 5.47%増と 10 年ぶりの高成長を記録しました。海水魚の養殖量は全国の約半分を占め、深水網箱や工場化養殖の生産量は 3 年間で倍増しています。これにより、漁業の質と効率が向上し、漁民の所得増加や沿岸地域の都市と農村の協調的な発展にもつながっています。

2023 年以降、省内では 100 件以上の関連プロジェクトが始動し、種苗育成から飼料加工、設備製造、養殖の施設化、公共サービス、観光レジャーまでを含む完全な産業チェーンが形成されています。これにより、「海上新広東」の構築が力強く進められ、海洋強省の実現に向けた確かな一歩となっています。

【参考資料】

- ・ [広東省の企業が全国上位を維持する理由をデータで読み解く](#)
- ・ [「クロスボーダー・ペイメント・ゲートウェイ」の始動で加速する大湾区一体化](#)
- ・ [広東省で近代型海洋牧場プロジェクトが 100 件以上始動—「海上の新たな広東」構築に向けて、海洋強省の実現を力強く後押し](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、
右記の QR コードから登録をよろしくお願いいたします。

(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====

[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいります
ので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所
担当:

香港：新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>

広州：Monica Tian/田 倩 <monica.tian@aoba.com.hk>

北京：Susan Zhao/趙 素艷 <susan.zhao@aoba.com.hk>

=====